

年明けすぐに発行できず仕舞いのガッツ通信…気が付いたら
2月も中旬となっていました…師走の仕業…？
今回の合併号は、所長&副所長からのご挨拶とさせていただきます。
ガッツの今までを振り返る…そんなメッセージをお送りします。

1+2月合併号 ガッツ通信

本年も昨年同様 よろしくお願ひします。
新年にあたりこんな詩はどうでしょうか。

「椅子からず」

もはや べきあいの思想には 椅子かかりたくない
もはや べきあいの宗教には 椅子かかりたくない
もはや べきあいの字間には 椅子かかりたくない
もはや いかなる権威にも 椅子かかりたくない
ながく生きて 心底学んだのはそれぐらい

じぶんの耳目 じぶんの二本足のみで立っていて なに不都合のことやある
椅子かかるとすれば それは 椅子の背もたれだけ

この詩をご存知の方もいると思いますが「汲木のり子」さんの晩年の詩になります。

「対話」という詩集から始まり「自分の感受性くらい」（僕はこれが一番好きです！）

含め人としての「凜」とした姿をやさしい言葉で紡いできた人です

新年にあたり「自分」の在り方を、もう一度みつめてみよう—

そんな新年への思いから引用させていただきました。

ガッツ・ビーと西 所長 渡辺 幹夫



編集発行日：ガ
崎平ツ
／成ツ
古二・
田十び
中七一
／年と
山二西
本月

2015年6月でガッツ・ビーと西も開所して6年経ち、7年目に突入りとなります。
開所した時の日中活動への想いをふと思い返していたところ、皆様に日中活動を紹介するた
めの文書を発見しました。

・作業所・就労施設等の利用やグループホーム等の生活の場や様々な社会資源
を選択出来ることを目指し、個別支援計画に沿った支援を行います（有期限を
目指します）。

・当施設をステップとして、他の社会資源へ移行された方々へも、継続して支
援していきます（何かあれば相談・利用をお受けします）。

説明会の時にも「有期限（4年）」を目指すと、皆さんに話をしていました。しかし、
実際は自分自身も『4年は難しい』と思った一人でしたので、色々考えて「有期限にしよ
う！」と決めた時の想いは忘れてはけません。この5年7か月で、24人の方がガッツ・
ビーと西を旅立っていきました。私たちが考えている「有期限」は、ただ送り出すだけとい
うだけでなく、それぞれができることを増やし、ここをステップとして次のステージへ送り
出すこと。もちろん移行後、すべてがうまくいくとは限りません。そんな時でもいつでも相
談に乗れる、帰って来れる場所…そんな「安心」をガッツ・ビーと西は提供したい…。

今年は「安心」に見える形で示し、皆さんが次のステージへ進めるよう、支援を考えてい
く年にします。今年もよろしくお願ひ致します。

ガッツ・ビーと西 副所長 阿部 浩之



～午後5時のつぶやき～

皆さんはお正月はどのように過ごされましたか？

私はほぼ寝正月で、どこにも出かけずほとんど家で
食っちゃ寝状態でしたが、唯一、休みの最終日に出
かけたのが伊勢山皇大神宮への初詣でした。1月4
日の夕方でしたので、人だかりは少し落ち着いてい
ましたが、それでもたくさんの方がお参りしていま
した。初詣で行ったのは久しぶりで、子供のころ
に毎年川崎大師に親に連れられて行って以来でし
た。子供心に順番を待っている時間が長くて嫌だっ
たことや、屋台のイカ焼きや焼きモロコシがとても
美味しかったことや、帰りに自分が欲しいおもちや
を買ってもらえて嬉しかったことなどを思い出しま
した。子供の頃は神様を信じる気持ちは全くなかつ
たのですが、最近はお参りをしてお賽銭を投げ入れ
て、願事をする時に、願う気持ちが昔よりもずっと
強くなっている気がします。今では家族や自分の安
全と健康をしっかりと願ひ事している自分がいま
す。帰る道なんてだろうなあと考えていました。子
供ってきっと不安がないのですね。自分の将来に前
向きな未来以外想像出来ないのですね。お賽銭を投
げて、強く願ってみると、これが不思議と安心する
んですね。正月以外にもお参りに行ってみようと
思っている今日この頃です。（尾崎）